

【南九州地区納税貯蓄組合会会長賞】

税金の恩返し

宇佐市立宇佐中学校

三年 安東 セア

「先輩への恩返しは後輩へ」という言葉を私は大事にしています。私の習っているバドミントンクラブではOB生が指導にきてくれます。仕事や学校など忙しい中、私たちのために時間をさいて丁寧に教えてくれます。とても感謝しています。そして私たちは先輩から教わった事を今度は後輩へ伝えていきます。

私は今回、税について考えたときこの言葉が頭をよぎりました。なぜなら私たちが今、学校で学べている事や病院、図書館が無料で利用できることなどは、これまでたくさんのお金を納めてくれた人たちがいて、その税金のおかげで私たちの生活が支えられているからです。また、税金はこれまで納税してきた人へも年金や福祉サービスといったかたちでちゃんと恩返しが出来ており、とても平等だなと思いました。

正直、税金と聞くだけでマイナスのイメージをもってしまう人はたくさんいるのではないかと思います。しかし、改めて考えてみると私たちの生活には欠かせない当たり前の事が税金と関係しています。毎日通る道路の修繕なども税金が使用されています。緊急時に警察や消防が無料でかけつけてくれるのも税金が使われているからです。

最近では、電気代を税金で補助するというニュースが話題になっていました。これは酷暑を乗り切るための支援だそうです。みんなが納めた税金は正真正銘、私たちのために使われていることがわかります。逆にもしも税金がなかったら、私たちの生活はどうなっていたのでしょうか。道路はでこぼこになり、不特定多数の人が利用するため誰が修繕すればいいのかも判断できません。警察や消防も有料となり、人命救助に値段を付けなければなりません。そんな現実には悲しすぎます。物価高騰が続く現在では電気代の負担はかなり大きいです。

電気代の補助は実際には、5月で一旦終了していますので、どれだけ補助金で助けられたかを実感している人がたくさんいると思います。マイナスのイメージだった税金のありかたをきちんと理解し、確認できたとき、気持ちよく納税できるのではないのでしょうか。自分が納めた税金がどこかの誰かのために役に立っていると考えるとうれしい気持ちになりますか。何より、今までしてもらった恩返しをしたいと思いませんか。

今の私はまだたくさんのお金を納めることはできませんが、将来のお金を稼ぐようになった時、私は次の世代のためにしっかりと納税したいと思います。納税することで恩返しにつながり、またその次の世代へと恩返しのかたまりがたまっていくことを私は願っています。